

# 先端科学技術研究科 修士論文要旨

|  |                                |     |              |  |  |  |
|--|--------------------------------|-----|--------------|--|--|--|
| 所属研究室<br>(主指導教員)   | サイバーレジリエンス構成学<br>(門林 雄基 (教授))  |     |              |  |  |  |
| 学籍番号   | 2411016                        | 提出日 | 令和 8年 1月 18日 |  |  |  |
| 学生氏名   | 諫山 あやね                         |     |              |  |  |  |
| 論文題目   | カテゴリ適合型ナッジによるフェイクニュース拡散抑制効果の検証 |     |              |  |  |  |
| 要旨   |                                |     |              |  |  |  |
| ソーシャルメディアの普及によりフェイクニュースの拡散が社会的な問題となっている。これに対処するため、先行研究では行動経済学に基づくナッジを用いてユーザにニュースの正確性確認を促すことでフェイクニュースの拡散を抑制する手法が提案され、その有効性が示されている。一方で、フェイクニュースを拡散する際の心理的動機は、ニュースカテゴリによって異なる可能性が示唆されており、単一の汎用的なナッジでは十分に効果を発揮できない可能性がある。そこで本研究では、ニュースカテゴリごとに最適なナッジを使い分ける手法を提案し、その有効性を検証することを目的とする。実験の結果、提案手法が最も効果的にフェイクニュースの拡散を抑制できていることがわかった。得られた結果を基に、フェイクニュースの拡散抑制に効果的なナッジ介入の在り方について考察を示す。 |                                |     |              |  |  |  |